

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年7月9日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年7月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【淡水化装置3ハウス内漏えい検出器不良について】 当直員が淡水化装置3ハウス内の漏えい検出器が動作し、漏えいを知らせる警報が発生したことを確認。 現場にて当該検出器周辺を確認したが、漏えいのないことを確認。 原因としては、当該検出部を清掃したが警報が解除されないことから当該検出器の不良と推定。 検出器は複数台設置されており、当該検出器周辺を監視カメラで確認できるため淡水化装置3の運転に問題はない。 今後、検出器の交換予定。</p>	G III	7月6日
2	<p>【当社社内ネットワークに接続されている協力企業が所有するパソコンのセキュリティ対策不備について】 当社社員が、社内ネットワークに接続されている機器等の調査をした際、協力企業が所有するパソコンが当社の社内ネットワークに接続されていることを確認。 当該パソコンの申請書類を確認したところ、「社内マニュアルに則ったセキュリティ対策を実施する」欄にチェックが入っているもののセキュリティ対策が不十分であることを確認。 当該箇所のセキュリティ対策を実施。 今後、原因の深堀りと再発防止対策を検討予定。</p>	G III	4月21日